

「メキシコ料理と音楽を楽しむ会」を開催しました
—広島国際映画祭上映作品メキシコ人映画監督を招待—

11月21日（木）、当親善協会会員、並びに関係者34名が参加して、「メキシコ料理と音楽を楽しむ会」を、今回も広島市中区袋町のメキシカン&アメリカン“Graffiti”を会場に、サルサバンド“エル・コンボ・デ・ラ・パス”の演奏で1年ぶりに開催しました。

11月22日（金）より3日間、NTTクレドホールや横川シネマなどを会場として開催された広島国際映画祭上映作品のメキシコ人映画監督を招待し、短編映画「聖火」のリカルド・ソト監督、長編映画「忘れ得ぬひと」のイリア・ゴメス・コンチェイロ監督のお二人にご参加いただきました。

金井会長の挨拶、広島県田邊副知事の乾杯で始まり、途中、二人の映画監督からそれぞれ映画の見どころなどご紹介がありました。



乾杯時にご挨拶をされる田邊副知事



短編映画「聖火」の見どころを語るリカルド・ソト監督（中央）



長編映画「忘れ得ぬひと」の見どころを語るイリア・ゴメス・コンチェイロ監督（中央）

会の後半には、すっかり恒例となりました当親善協会歌「シェリト・リンド」、「カミノ・デ・グアナファト」を参加者で合唱いたしました。

11月22日（金）から24日（日）まで開催された広島国際映画祭において、メイン会場となりましたNTTクレドホールのロビーには、広島県内各市町でのメキシコ選手団の事前合宿の様を紹介するフォトパネルを展示しました。



エル・コンボ・デ・ラ・パスの演奏に合わせてメキシコ舞踊を披露するAZUSAさん



会の最後に参加者全員で「シェリト・リンド」を合唱